

京極読書新聞 <第52号>

発行日 平成25年 12月 1日(日)
京極町生涯学習センター湧学館

戦時下の国策紙芝居 発表会

① モモタロウサン ② 空の軍神 ③ キンスケの武者修行

2013年12月8日(日) 午後3時から 湧学館1階ホールにて

京極町の民家から奇跡的に発見された「国策紙芝居(戦時中の紙芝居)」。今回上演するのは、当時の子ども向け作品『モモタロウサン』と、この日12月8日(真珠湾攻撃の日)にちなみ『空の軍神～加藤隼戦闘隊』の2本です。

戦時中、大人を対象として、官公署、会社や工場、町内会などで実演された「国策紙芝居」。今回の京極町の発見によって、『空の軍神』のような従来言われてきた「国策紙芝居」以外にも、例えば『貝の火』のような子ども向け紙芝居においても、じつに巧妙に国策宣伝・戦意高揚の情報操作が仕掛けられていたことが明らかになりました。今回は、その中でも最も「洗脳」度が高い『モモタロウサン』を上演します。当時の町内会集会そのままに、大人向けの国策紙芝居と子ども向け紙芝居の合わせ技一本というスタイルでやってみようと思います。



「広報きょうごく」12月号でお知らせしました『キンスケの武者修行』につきましては、この作品は戦後のものであることがわかりましたので、今回の組み合わせからは一旦外しました。



戦時中、戦意高揚宣伝をあれだけやっていた「北海道教育紙芝居協会」が、戦後、民主主義の普及を謳う「新日本文化協会」に転身。やっている人間は変わらぬままに、戦後も北海道の児童文化・教育に深く関わりつづけた人間たちの「動かぬ証拠」こそ『キンスケの武者修行』であると言えます。今度はGHQ(連合国軍総司令部)の方から検閲を受け、公開禁止になった紙芝居という点でも大変興味深い作品ではあります。

12月8日は、『モモタロウサン』『空の軍神』の後の時間が余りましたら、『キンスケの武者修行』をご披露したいと考えています。



京極読書新聞は
毎月1日発行です。

京極町・湧学館所蔵紙芝居

(2013.11.18 谷暎子氏作成資料を参考に)

※ 赤字で書かれた作品は、今回京極町で初めて発見された紙芝居です

紙芝居名	作・脚本など	画	発行所	発行年月日	枚数	定価	所蔵館
1	大原幽学	古川良範／作	西正世志／画				
	製作・日本教育紙芝居協会 発行・日本教育画劇株式会社 1943.11.25 20枚 3円 【所蔵】大阪府立中央図書館 国際児童文学館						
2	谷千城婦人	堀尾勉／作	西正世志／画				
	製作・日本教育紙芝居協会 発行・日本教育画劇株式会社 1943.10.20 26枚 3円 【所蔵】子ども文化研究所						
3	朝	納富康之／作	簡易保険局／指導	西正世志／画			
	製作・日本教育紙芝居協会 発行・日本教育画劇株式会社 1943.08.25 20枚 2.6円						
4	貝の火	宮沢賢治／原作	堀尾勉／脚色	油野誠一／画			
	製作・日本教育紙芝居協会 発行・日本教育画劇株式会社 1945.07.25 20枚 6.5円 【所蔵】遺愛幼稚園						
5	真鯉緋鯉	羽室邦彦／作	山田久寿郎／画				
	製作・日本教育紙芝居協会 発行・日本教育画劇株式会社 1943.09.25 20枚 2.6円 【所蔵】子ども文化研究所						
6	ガダルカナル島血戦記 中澤挺身隊	北島英作／作	泉比呂正／画				
	製作・日本教育紙芝居協会 発行・日本教育画劇株式会社 1943.10.13 20枚 3円 【所蔵】大阪府立中央図書館 国際児童文学館						
7	父	日本教育紙芝居協会／作	逋信省管理局／指導	野々口重／画			
	製作・日本教育紙芝居協会 発行・日本教育画劇株式会社 1942.08.20 20枚 2円 【所蔵】国立国会図書館						
8	芋の宇平	大島萬世／作	野々口重／画				
	製作・日本教育紙芝居協会 発行・日本教育画劇株式会社 1944.01.05 20枚 2.8円 【所蔵】遺愛幼稚園						



「袖珍文庫」展示会も!

同日 午後4時頃から 湧学館2階 文化教室にて

民家からは、戦時下の紙芝居だけではなく、それをも上まわる数の、明治時代の図書が発見されています。今回そのコレクションの中から展示するのは、明治時代の「袖珍文庫」35冊。「袖珍文庫」は、日本の出版史上、最初の文庫本シリーズといわれています。展示には、「世界中で今ここにしかない」大変貴重な1冊も含まれています。

-
- 9 空の軍神（前篇） 佐藤信一／作 松田繁美／画
北海道教育紙芝居協会 1944.09.14 18枚 4円
【所蔵】 谷・初版(1943.9.14)
-
- 10 空の軍神（後篇） 佐藤信一／作 陸軍航空本部／指導 松田繁美／画
北海道教育紙芝居協会 1944.09.14 16枚 3.7円
【所蔵】 谷・初版(1943.9.14)
-
- 11 キンスケの武者修行 原田太朗／原作 北海朗一／画
北海道教育紙芝居協会 — — —
-
- 12 モモタロウサン — —
コクサイハウダウカブシキカイシャ — — —
-
- 13 少年野口英世 星野澄雄／作 新井五郎／画
製作・日本画劇株式会社 発行・大日本画劇株式会社 1946.10.25 12枚 1.5円
【所蔵】 大阪府立中央図書館 国際児童文学館、埼玉県立図書館
-
- 14 忠臣蔵 第一篇 赤穂城開門篇 — —
第一画劇社 1943.05.20 20枚 非売品
-
- 15 ピョコちゃんとピョン助君 佐藤信一／作 村山末雄／画
北海道画劇教育協会芝居部作品 発行・北海道画劇教育協会 1944.11.20 16枚 —
-
- 16 （数枚しか残っていないため、すべて不明）
-



谷暎子先生の来館 2013年11月18日

谷暎子さん。元北星学園大学文学部教授。現在は児童文化研究者としてご活躍されています。今年の5月に北海道立文学館で「紙芝居の今昔」という特別展がひらかれ大きな話題になりましたが、その際の記念講演会で「北海道にみる紙芝居の歩み～戦時、戦後の紙芝居活動をたどって」という講演をなされた方です。この分野の第一人者。その谷先生が北海道新聞記者の第一報を受けて、ただちに札幌から京極町にいらっしゃった事実、今回の「戦時下の紙芝居」発見の、事の重大さをまざまざと感じます。

谷先生は「プランゲ文庫」の研究者として有名な方です。「プランゲ文庫」。占領下（1945～1949年）の日本で、当時の出版物に対して、GHQ（連合国軍総司令部）による検閲が行われていました。その検閲済みの出版物を、当時GHQで仕事をしていたメリーランド大学のプランゲ博士が譲り受け同大学に持ち帰ったのが「プランゲ文庫」です。その所蔵資料の中でも、ひときわ目を引くのが絵本、漫画、読み物など約8000タイトルに及ぶ児童書のコレクションでした。これらの児童書に光をあて、書誌的整理と目録作成への道を開いたのが村上寿世氏です。（現在も「村上寿世記念児童書コレクション」と命名されて同大学に残っている）ただ、1995年にこの作業を始められた村上氏は、病のため

1997年に急逝されます。谷先生は、その村上氏の意志を継いで、目録完成への努力を続けられた方なのです。現在、その成果は、谷暎子編著『占領下の児童書検閲 資料編』（新読書社、2004.5）にまとめられています。

今回の、国策紙芝居の奇跡的な発見には、戦時下～占領下の日本社会を解明する重要な鍵がいくつもいくつも隠されているのです。「戦争」というものは、ある日突然海の向こうで始まるようなものではなく、ひたひたと、ある時は善意や正義の衣をまとって、ある時は朗らかな笑いをともなって、庶民生活や子どもの心の中に忍びよってくるのだということを「戦時下の紙芝居」は強烈な具体性を持って語ってくれます。

（湧学館・新谷保人）



国策紙芝居に見入る谷暎子先生

発行

京極町生涯学習センター湧学館
〒044-0101 京町字京極158番地1
TEL 0136-42-2700(代表)
FAX 0136-42-2032
E-Mail yugakukan@town-kyogoku.jp



ホームページもご覧ください
<http://lib-kyogoku.cubet.com/>

